

2024 年 11 月 29 日

ANA ホールディングス株式会社

菊地シート工業株式会社

TOPPAN 株式会社

CA のアイデアから生まれた「Fire Resistant Bag」を販売開始

- ANA、菊地シート工業株式会社、TOPPAN 株式会社は「Fire Resistant Bag」を共同開発しました。
- 「Fire Resistant Bag」は、異常発熱した電子機器を一時的に安全に退避させ、発火や破裂などのリスクからお客様や乗務員、航空機を守ります。
- 2025 年 1 月より、販売を開始します。



ANA(本社:東京都港区、代表取締役社長:井上 慎一、以下「ANA」)、菊地シート工業株式会社(本社:大阪市鶴見区代表取締役社長:菊地 宏子、以下「菊地シート」)と、TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:齊藤 昌典、以下「TOPPAN」)は、航空機内で異常発熱した電子機器を一時的に安全に退避させ、発火や破裂などのリスクから乗客や乗務員、航空機を守る「Fire Resistant Bag」を共同開発しました。2024 年 4 月より ANA の機材※¹にて使用されています。

この度この「Fire Resistant Bag」を航空業界やその他業界に向けて、2025 年 1 月より販売を開始します。

※¹ ANA、Air Japan (AirJapan ブランド含)、ANA ウイングスが運航するすべての機材

近年、リチウムイオンバッテリーの経年劣化や品質不良などによる発火・発煙が国際的に報告されています。この状況を踏まえ、「Fire Resistant Bag」は ANA 客室乗務員の現場の声から企画・開発され、誕生しました。

本製品は、TOPPAN が開発した火災発生時の熱に反応して、消火効果のあるエアゾルを放出する消火フィルム「FSfilm®」※² と、菊地シートが提供する「耐火袋※³」を組み合わせ、異常発熱や変形などの兆候が現れた電子機器に迅速かつ安全に対処できる設計となっており、延焼を防ぐことができます。さらに、ANA・AirJapan 全ての機材への搭載を考慮し、軽量かつコンパクトな設計となっています。ANA グループ、菊地シート、TOPPAN の 3 社が協力し、客室乗務員が迅速かつ確実に、そして安全に対応できる方法が実現しました。

「耐火袋」と「FSfilm®」を組み合わせたこの製品は世界初のアイテムであり、安全性を最優先に考えた取り組みの一環です。3 社は「Fire Resistant Bag」の販売を開始するとともに、今後も、安全性を最優先に考え、最新技術を活用した取り組みを推進します。

※2 「FS film®」

「FS film®」は、消火効果の高いエアロゾルを放出する消火剤に、TOPPAN のコーティング技術と透明蒸着バリアフィルム「GL BARRIER」を組み合わせることで、長期設置も可能な優れた初期消火効果を持つフィルムです。

参考 URL <https://www.toppan.com/ja/living-industry/packaging/topics/column/002/>

※3 「耐火袋」

「耐火袋」は発煙発火の恐れのある機器等を入れ、保管や移動が出来る JIS A 1323 A 種合格品のフェルトシートと海外製のアルミ付き耐熱シート(防災認定品)で構成された発煙発火対策バッグです。

参考 URL:

<https://www.kikuchi-sheet.co.jp/archives/product/fireprotect-bags/>

■ 価格について

OPEN 価格 最低ロット 50 セットより

※ロットによって価格は変動します

以上